



あの軍隊が敵だか身方だかを確
めたい。

タイチ すぐ戻つて参ります。

タイチニヤス 入る。

カシヤ くら、ビンダラス、あの丘のすつ
と上へ登つて往け。予の目は霞
んで駄目だ。タイチニヤスを氣
を付けて見てゐて、戦場の模様を
知らしてくれ。……

ビンダラス 丘の上に登る。

けふは予がはじめて生れた日
や。時連巡環して生を始めた日

に生を終るのぢや。予の一生は一巡りしてしまつた。……やい、様子は如
何ぢや？

ビンタ (丘の上にて) おゝ、旦那さま！

カシヤ どうしたのぢや？

ビンタ あれ〜、タイチニヤスどのは、四方から驅けて来る騎兵に圍まれてしま
ひます、あれ〜、騎兵が驅けて來ます。けれどもタイチニヤスは尙前へ
驅けてゆかれます。あゝもう敵が迫りました。あゝもうタイチニヤス
は！ あゝ大ぶ降ります。おゝタイチニヤスも降りられました。あゝもう
生捕られてしまひなすつた！……

歎呼の聲 聞える。

あれ〜！ 勝鬨を擧げてをります。

カシヤ 降りて來い。もう見るな。……おゝ！ 予は卑怯者ぢや、大事の親友が鼻

の前で、生捕られるのを見るまでも生きてゐるとは……

ピンダラス 降りて来る。

やい、こゝへ来い。……予が貴様をパーシヤで捕虜にした時に、命を助けてやつて、堅い約束をしておいた、予が爲ると命する事は何でも必ず爲ると。さ、今其約束を守れ。今日から自由の人間になれ。此——シーザーの腹を貫いた利剣で以て、此胸を貫け。……くづくしてゐるな。こゝら、此欄を握れ。さうして予が面をおほつた途端に、それ斯ういふ風に、うまく剣を扱へ。……シーザーよ、お前の敵は討てるぞ、お前を殺した其同じ剣で。

ピンダラス 突つ、カシヤス 死す。

ピンダ

これで予は自由の身になつた。が、若し予の本心通りにしたら、自由にはなれなんだのだ。……おゝカシヤス！ ピンダラスは今から遠い外國へ立退きます、二度と羅馬人の目に掛らん遠い國へ。

ピンダラス 入る。

タイチニヤス 先にメツサラ従いて出る。

メツサ

まあ取換ぢや、タイチニヤス。オクターギーヤスがブルータスどのゝ爲に大敗をしたのぢやから、丁度カシヤスの一隊がアントニーに敗られたやうに。さう報道したなら、カシヤスも大きに心を慰められるであらう。

メツサ

君は何處で別れたんだ？

タイチ

此丘の上で。奴隷のピンダラスと一しよに、全く落膽してをられた。

メツサ

彼人ぢやないか？ 地上に倒れてゐるのは。

タイチ

生きてるやうぢやないせ。……おゝ！

メツサ

彼人ぢやないのか？

タイチ

彼人ぢやない、彼人はもう此世にはゐなくなつてしまつた。……おゝ沈んで行く太陽よ、眞赤な光線を浴びて汝が闇へ沈むやうに、カシヤスといふ

日輪も真赤な血の中へ沈んでしまつた。羅馬の大陽が沈んだのだ。吾々の日は暮れたのだ。雲も来い、露も来い、危険も来い。吾々の仕事は終つたのだ。予が善い報を持つては来まいと思ひ過して、斯ういふことをせられたのだ。

メツサ

迎も善い報は来まいと思つて、斯ういふことをせられたのだ。あゝ怨めしいは誤解だ、悒鬱の産む誤解よ！ 何故ありもせぬ事があるやうに思はせて人の心を惑はずぞ？ おゝ誤解といふものは忽ち人心に胚胎れるが、決して安産はせんで、懷妊した母親を殺すのが定例だ。

タイチ

おいビンダラス！ 何處にゐる、ビンダラス？

メツサ

奴をお捜しなさい、タイチニヤス、其間に予はあつちへ往つてブルータスどのに逢つて、此事を知らせ、耳を突裂いて来よう。あゝ、突裂くんた、こんな報知よりは鋭い鎗や毒を塗つた投箭の方がブルータスの耳には有難

タイチ

からうから。
急いで往つて下さい、メツサラ、予は其間にビンダラスを捜さう……

メツサラ 入る。

カシヤスどの、何故お前は予を使にやつたんだ？ お前の親友達に予は逢つたぢやないか？ そして彼等は予の額に、此通り勝利の木葉冠を載けて、これをお前に渡せといつたぢやあないか？ 歡呼の聲をお前は聞かなかつたのか？ あゝ〜！ お前は何かも誤解してしまつたのだ。しかし、これをお取なさい、お前の額へ此木葉冠をお載せなさい。お前の親友のブルータスが持つてつて渡せと言つたんだから、予は其通りにする。……ブルータス、早く来て、予がケイヤス・カシヤスを如何様に尊敬してゐたかを見てくれ。神々様、御免下さい。これは羅馬人の本分です。……さあ、カシヤスの劍よ、タイチニヤスの心を見て来い。

自ら心臓を貫いて死す。

警鐘亂打。メツサラを先にブルータス、ケートー、ストレイトー、ドラムニヤス及びルシリヤス出る。

ブルー 何處に、何處に在る、メツサラ、彼れの死骸は？

メツサ あれ、あそこに。タイチニヤスが歎いてをります。

ブルー タイチニヤスは仰向になつてゐる。

ケート 殺されてゐるのだ。

ブルー おゝジュリヤス・シーザー！ お前はまだ偉い力を有つてゐる。お前の亡霊がさまよつてゐて、吾々をして手づから其肚を貫かしめるのだ。

低く警鐘聞える。

ケート 勇敢なタイチニヤス！……御覽なさい！ カシヤスの死骸へ冠をかぶせましたのを。

ブルー

此二人のやうな羅馬人が、尙二人と生きてゐようか？……（カシヤスの死骸に）全羅馬人の最後の典型、さやうなら！ 羅馬が二度とお前の同輩を養成しようとは望まれない。……諸君よ、予は此死人には、中々こんなことでは拂ひ盡されん涙の負債がある。……カシヤスよ、今に拂はうわい、今に……。……だから、さ、此死骸はサッソスへ送つて下さい。陣中では葬式を行ふまい、身方の勇氣を沮喪させる虞れがあるから。……さあ、ルシリヤス。さあ、ケートー。さ、戰場へレピオとフレীগヤスとは軍隊を進めてくれ。丁度三時ちや。羅馬人よ、夜にならんうちに第二戦をして運命を試みようぞ。

一同入る。

第四場——戦場の他の一部。

警鐘亂打。兩軍の兵士等聞ひつゝ出る。其後ブルータス、ケート・ルシリヤス及び其他の者出る。

ブルー まだく、國人よ、おっ！ まだく頭を垂げては不可ぞ。

ケート 羅馬人の血を受けた限りは、誰れが頭を垂げるものか？ 子と一しよに進む者はないか？ 敵中を駆廻つて名を名宣つてくれう。……やあく、子は

はマーカス・ケートーの一子だ。專制君主の仇敵を以て任じ、國家の親友を以て居る所の、マーカス・ケートーの一子だ！

ブルー さてまた子はブルータスだ、マーカス・ブルータスだ。國家の親友たるブルータスだ。ブルータスを見知つておけ。

二人ともに入る。

ルシリ お、けなげなケートー！ お前もやられたか？ はて、タイチニヤスに劣らん勇ましい最期ぢや、ケートーの子たるに恥ぢない名譽の戦死ぢや。

敵兵出る。

第一兵 抵抗すると殺すぞ。

ルシリ 殺してくれるなら、抵抗しない。……さ、これだけお前に遣るから、直に殺

いてくれ。……

敵兵に金を與へる。

ブルータスを討取つてお前の手柄にせい。

第一兵 そりや出来ん。こりや容易ならん捕虜ぢや！

第二兵 おい、そこを開けたり！ アントニーに報告さつせ、ブルータスを生捕つたと。

第一兵 さうしよう。……あゝ、將軍が見えた。……

アントニー 出る。

ブルータスを生捕りました、ブルータスを生捕りました。

アント 何處にブルータスがゐる？

ルシリ いや、アントニー、ブルータスは無事です。いかなる敵もブルータスを生

捕にすることは出来ません。神々よ、願はくは彼れを護つてさういふ恥辱

を興へさせられまするな！ 生死ともに、ブルータスはブルータスらしく

してお目にかゝられませう。

アント これはブルータスではない、が、此者を生捕つたのも立派な手柄だ。取逃

さんやうにして、十分鄭重に取扱へ。かういふ手合は敵にするよりも身方

に有りたい。……往け。ブルータスの生死を取調べ、一切の報告は

オクテーギヤスの陣所へ持つて參れ。

皆々 入る。

第五場——戦場の他の一部。

ブルータス、ダーダニヤス、クライタス、ストレートー及びヂラムニヤス
出る。

ブルー さあゝ、打洩らされた身方の人達、此處の上でお休みなさい。

クライ スターチリヤスが炬火を見せましたつけが、到頭戻つて来ませんでした。

生捕られたか、殺されたか、どちらかです。

ブルー お掛けなさい、クライタス。殺すといふことが合言葉だ、又流行の所行で

もある。……ちよつと、クライタス。

耳語する。

クライ え、わたくしに？ いや、とんでもないことです、決して。

ブルー しつ！ ちや黙つて。

クライ わたしは寧ろ自分をやります。

ブルー ちよつと、ダーダニヤス。

又耳語する。

ダーダ どうしてそんな事をわたくしが！

クライ (ダーダニヤスに) おゝダーダニヤス！

ダーダ おゝクライタス！

クライ 君に何かブルータスが不吉なことを頼んだのか？

ダーダ 殺いてくれつて。……御覽なさい、何か考込んでをられる。

クライ あゝ、あの立派な器が悲歎で一ぱいになつて目から溢れ出しさうになつてゐる。

ブルー こゝへ来てくれ、ブラムニヤス。ちよつと。

ブラム 何でござりますか？

ブルー 外でもない、ブラムニヤス、シーザーの亡霊が二度まで、二晩までも出た。

サーデイスで一度、それから昨夜、此フィリップバイの原でも。予の死期が来たのだ。

ブラム そんなことはありません。

ブルー いゝや、たしかに来たのだ。ブラムニヤス、世の事態は分つてゐるだらう。

吾々は敵の爲に殆ど死地におとしいれられんとしてゐる。……

低く警鐘聞ゆる。

陥穽されるまで踟躕してゐるよりは、自ら躍込んだほうが立派だ。ブラム

ニヤス、君は覚えてゐるだらう、二人で一しよに學校通ひしたことを。其昔の愛情があるなら、どうか此劍の欄を持つてゐて下さい、予がそれへぶつゝかるから。

ブラム これは友人のすべきことぢやありません。

警鐘 尙つゞく。

クライ お逃げなさい！ くづくしちやをられません。

ブルー では、さやうなら……さやうなら……さやうなら、ブラムニヤス……ストレートリー、貴様は先刻から始終居眠つてゐたな。ストレートリー、さやうなら貴様も……國人達よ、予は一生中、未だ曾て一人と雖も予に對して不忠實であつた人を知らないので、實に嬉しく思ふ。戦争には負けても、予は、オクテーギヤスやマーク・アントニーが卑劣な勝利で得る以上の榮譽を荷ひませう。……では、これが最後の告別の言葉だ、ブルータスの舌は

これでもう殆ど其一生の歴史を語り盡したのだから。夜が予の目におほひかゝつてゐる。予の骨は休息を求めてゐる、今日あるを期して多年働いて來た予の骨は。

警鐘 「逃げる！と奥にて呼ぶ。

クライ 早くお逃げなさい、早く！

ブルー あつちへ〜！ 予は後から往く……

クライタス、ダーダニヤス及びブラムニヤス入る。

ストレートリー、どうぞ貴様は留つて手助をしてくれ。貴様は中々立派な男だ。名譽と言つても可い程の經歷のある男だ。だから、予の此劍を持つて、面をそつちへ向けてゐい、予がぶつゝかるから。可いか、ストレートリー？ 其前にお手を下さいまし。……さやうなら。

ブルー さやうなら、ストレートリーよ。……シーザーよ、今こそ安心せい。予はお前

を此半分ほど甘んじては殺さなんだのだ。

ストレートリーが持つてゐる劍へ走りかゝり自ら貫いて死す。警鐘。退陣。オクターギヤス、アントニー、メッサラ、ルシリヤス及び兵士等出る。

オクテ あれは何者だ？

メツサ 主人が使つてゐる者です。……ストレートリー、御主人は何處にござる？

ストレ メッサラ、貴下のやうに捕つちやあござらない。勝つた手合だつて、旦那

を如何することも出来ん、焚くより外は。ブルータスどのは自分で自分を打取らつしやつたのだ、誰だつて、それを己の手柄にすることは出来ん。

ルシリ ブルータスの最期はさうなくちやならんのだ。有難い、ブルータス、お前

はルシリヤスの言つたことを證據立て、下すつた。

オクテ ブルータスに仕へてゐた者は、これから子が優待して遣す。……(ストレート

リーに)こりや貴様、子に奉公するか？

ストレ メッサラどのが推薦してくれますなら、御奉公します。

オクテ メッサラ、さうしてやれ。

メツサ ストレートリー、御主人は如何して死なれた？

ストレ 子が劍を持つてると、馳けて来てぶつゝから

しやつた。

メツサ オクテーギヤスどの、ではお召使ひ下さい、

これは手前主人に最期の忠勤を盡した男で

ござります。

アント (ブルータスの死骸に) これは徒黨中の最も高潔

な羅馬人であつたのだ。此男一人の他は、何



れも大シーザーを嫉み憎むの餘りにしたのだ。此男のみが、全く公共の爲に、一般の利福の爲に、正しい考で其仲間に加はつてゐたのだ。其生活は高雅にして、其稟賦は如何にも程よく種々の要素を混交してゐた、造化みづから立上つて全世界に向つて「これこそ人間！」と呼號したのであらうほどに。

オクテ

彼れをば其徳相當に取扱つて、葬儀其他鄭重に執行することにしよう。今晩は子の天幕内に遺骸を休ませ、萬事名譽の士にふさはしいやうに儀式を執り行はせよう。……では遍く戰場へ休息を觸れ出せ。それからお互ひに彼方へ參つて、此めでたい勝利の榮譽を分つことにしよう。

皆々入る。

ジュリヤスシートザー 完

大正二年四月八日印
犬正二年四月十日發行

正價全圖學拾五錢

(製復許不)

譯者	東京市牛込區余丁町百十二番地 坪内雄藏
發行者	東京市小石川區音羽町四丁目十一番地 荒川信賢
發行者	東京市神田區裏神保町九番地 坂本嘉治
印刷者	東京市牛込區櫻町七番地 渡邊八太郎

發行所

東京市牛込區 早稲田
東京市神田區 裏神保町
早稲田大學出版部
合資會社 富山房

刷印社會式株刷印滿日

338
142

終